

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立那珂湊第一小学校

担当教諭名 菊池のり子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成24年2月1日(水) 10:30 ~ 13:30
対象学年と人数	4学年 57名
派遣講師名と出身国	オレリー・ノエル(フランス) 新垣 マリア(ペルー)
活動の内容	<p>○開会セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・那珂湊の紹介(児童) ・講師の先生の紹介(コーディネーター) <p>○交流教室</p> <p>2つの教室に別れて、各国の生活や文化、学校の様子などについて学ぶ。</p> <p>各国の○×クイズ</p> <p>異文化体験活動</p> <p>○給食交流</p> <p>講師の先生と一緒に会食。(1組フランス、2組ペルー)</p> <p>○閉会セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を終えての感想発表(児童) ・感謝の言葉と合奏合唱(児童代表)・写真撮影
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	異文化体験活動を重視した授業を要望したところ、それぞれの文化をわかりやすく紹介するためのグッズや映像を準備してくださり、児童の興味関心が高まりました。時間をもう少し長く設定することで、質問タイムを充実させられると思いました。コーディネーターがいっしょに参加して、時間配分ややりとりのかけはしをしてくださり、流れがスムーズでした。
生徒・保護者等参加者の感想	もっと時間があつたら、フランスやペルーの子ども達が遊んでいる遊びやスポーツを、外国のルールでやってみたい。
先生の感想	児童一人一人が、自分のテーマのもとに、事前からそれぞれの国の文化について調べてきましたが、実際に写真や実物を見ながら講師の話を聞いたり、やってみたりすることで、さらにイメージを広げ、異文化理解を深めることができました。また、自国文化との違いに驚きや疑問をもちながらも、世界には数多くの文化があることや自分たちの文化も外国では驚かれることがあるということに気づくことができました。直接体験は、大変効果的であると実感しました。

